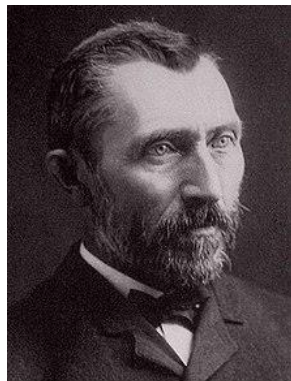


『Mind Charging』

第 28 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 13 日

ゴッホの名言



Your life would be very empty if you had nothing to regret.

何も後悔することがなければ、人生はとても空虚なものになるだろう。

ゴッホという名前を聞けば誰でも『有名な画家』だとわかるほど、現在は数々の作品が高く評価されている有名な画家ですが、実は生前に売れた彼の作品はなんと、たった 1 枚だったそうです。とても意外ですね。

彼の作品の独特のタッチは、初めて見る作品でも『これはゴッホの作品だな』とわかるものが多く、その技術は『さすが天才』といった印象です。そんな彼の生涯は、非常に波乱に満ちたものだったようです。芸術家ですから、人一倍繊細だったからだろうということも想像できますが、記録を見ると『苦悩・狂気・挫折・壮絶』といった言葉が似合うレベルです。そんな彼の言葉ということは、彼の生涯は空虚とは真逆の濃密なものだったと感じているのでしょうか。

絵画も納得のいくまで何度も描き直すと思います。『後悔のない人生』という、壮大なスケールの作品を完成させるために、これからも様々な挑戦を『経験』と捉え、自分を高めていきたいものですね。是非、彼の生涯について深掘りしてみてください。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

フィンセント・ヴィレム・ファン・ゴッホ(Vincent Willem van Gogh, 1853 年 3 月 30 日 - 1890 年 7 月 29 日)は、オランダの実在した人物。ポスト印象派の画家。主要作品の多くは 1886 年以降のフランス居住時代、特にアルル時代(1888 年 - 1889 年 5 月)とサン＝レミでの療養時代(1889 年 5 月 - 1890 年 5 月)に制作された。感情の率直な表現、大胆な色使いで知られ、ポスト印象派を代表する画家である。フォーヴィスムやドイツ表現主義など、20 世紀の美術にも大きな影響を及ぼした。なお、オランダ人名の van はミドルネームではなく姓の一部であるために省略しない。英語の読みでピンセント・バン・ゴッホ(実際には「ホ」は発音されたとしても非常に弱く「ゴー」と表記の方が音に近い)とも読まれる。日本を含め多くの国では、これを省略してゴッホという呼び方が定着しているが、本項では正式にファン・ゴッホと呼ぶ。ただ、これでもまだ英語とオランダ語の中間的な表記であり、「ファン・ホッホ」がオランダ語により近いカタカナ表記である。(Wikipedia 参照)